

みずえだに新聞

Vol. 1
2013年1月
新年号



新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

いよいよ二〇一三年がスタートしました。早いもので、みずえだに歯科も今年で七年目を迎えます。開院当初からの信念でもあります、『地域に密着した、誠意をもった診療』をこれからも

モットーに頑張っていきたいと思っております。患者様との間に信頼関係があつてこそ最良の診療は成り立つもの。患者様の声にしっかりと耳を傾けるとともに、患者様が自分の言いたいことを我々に言いや



すい環境作り。今年はこのように点にも今以上に注意を払って参りたいと思ひます。

私の理想とする病院とは、医者と患者様の間の垣根を取り払い、ざつくばらんに何でも話せ、例えば長期間、治療を中断していても行き難いなどとは思わないような、そんな姿です。「お久しぶり！お元気でしたか？」それでいいじゃないですか。兎にも角にも和気あいあいと、近所の知り合いの歯医者に行くような、そんな雰囲気についていいですよ。

雨にもマケズ、元気にもちつき大会

昨年十二月十五日、恒例のもちつき大会を開催いたしました。今回はお天気に恵まれずあいにくの雨模様。でも子供たちは元気に「ヨイショッ！」の掛け声とともに『きね』を力いっぱい振り下ろしていました。帰りはお土産の餅を片手におなか一杯で満足そうに帰っていました。



救急処置研修会参加

歯科医師会やその他の主催によって様々な研修課、講習会があります。日進月歩の歯科医療に遅れを取らないように日々精進をすることが我々の義務であります。

昨年十一月はその一つの「救急処置研修会」に参加して参りました。救急時の心臓マッサージやAEDの使い方などを実習し



ました。AEDは当院にも設置してあります。使う機会がないに越したことはありません。いざという時のためにも日々の訓練は欠かせません。

★スタッフ、新年の抱負★

院長 水枝谷浩己

正月、食べ過ぎまして増々太鼓腹に！今年こそは減量を頑張ろうと思います。

副院長 水枝谷幸恵

早寝早起き・体力作り！

歯科衛生士 池増奈津美

健康に気を付けて過ごせるようにします。若々しくいられるように頑張りたいです。

歯科衛生士 五反分裂菜

目指せ素肌美人という事で、化粧したまま寝ないようにします。笑顔いっぱい頑張ります。

歯科助手 本庄利恵

疲れを次の日に引きずらないように早寝早起きと三食必ず食べる事！



歯の妖精

しょうがっこうに入学するころ、乳歯が抜けて大人の歯が生えてきます。日本では上の歯は床下に、下の歯は屋根の上に投げるという風習があります。この頃では、抜けた歯を記念にと取っておく箱もありま

すよ。アメリカやイギリスでは抜けた乳歯を眠るときに枕の所に置いておくとか、かわりにコインやプレゼントを置いていくつくれる歯の妖精がいるそうです。こんな妖精がいたら、歯の生えかわりが楽しみになりますね。



最新医療情報

ミカンの色素に予防効果？

女性の骨粗しょう症

農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）は21日、ミカンに多く含まれる色素「フラボノイド」が、閉経後の女性の骨粗しょう症予防に役立つ可能性が高いとの調査結果を発表した。この色素は骨密度を維持する働きがあるとみられ、農研機構は研究を続けて詳しいメカニズムを明らかにする。調査は、ミカンの産地で有名な浜松市（旧三ヶ日町）で457人を対象に2005〜09年に実施。閉経後の女性で、ミカンを毎日4個程度食べて色素の血中濃度が高い人は、毎日食べない人に比べて骨粗しょう症の4年以内の発症確率が約9分の1と低かった。

今回の名言

あなたの笑顔がしあわせを呼ぶ一番のおまじない〜御木幽石〜

介していききたいと思えます。

『今回の名言』と題して著名人の発した名言を紹介

下顎総入れ歯の心強い味方

MDーミニインプラント

下顎総入れ歯の一番の悩みといえば、ゆるくて食事の時に入れ歯が持ち上がって来るといいう症例があります。上顎の総入れ歯は骨が少なくなっても吸盤のようにピタッとくっついてくれるのですが、下顎の場合は骨が吸収し、「土手」がなくなってしまうと、どうしても入れ歯が持ち上がって来ます。これは、下顎は周囲に舌が存在するために、口を動かさない状態ではしつかりとくっついていても、食事や会話などで舌が動く土手と入れ歯との間に空気が入り込み、入れ歯を浮き上がらせてしまうからです。

これを改善するために、下顎の土手に小さいインプラントを4本植立し、入れ歯をフォックのようにカチツとはめ込む方法があります。手術も非常に簡単で、普通の抜歯をする程度の麻酔で痛みもほとんどなく、1時間程度で終わります。保険診療

療の適応ではないため、4本セットで30万円と消費税と高価ではありますが、かなり有効な治療法です。興味のある方は是非一度ご相談下さい。



編集後記

さて今回当院として初めての試みで、院内新聞『みずえだに新聞』を発行致しました。これまでもいろいろ企画を考えてはいたのですが、なかなか実行に移すことが出来ず、晴れて新年を迎えたこの時期に発行に漕ぎ着けられた事を心から嬉しく思います。これを機に当院より

様々な情報を発信して行ければと思います。歯に関する情報は元より、身体全体の健康情報、スタッフからの情報、院長情報等など、盛り沢山の内容をお届けして行ければと思います。今回は初回という事もあり、至らない点も多々あるかと思いますが、今後乞うご期待を！

